

窓 簡

第44号



平成13年9月刊

東京都立文京高等学校同窓会誌

平成13年度同窓会役員(1)

会 長	静谷 晴夫 (四 B)
副 会 長 (名簿)	榎本 幸三 (4 E)
〃 (書記)	林 敏子 (5 D)
〃 (集い)	若尾 迪治 (10 A)
会 計	太田 敏夫 (3 A)
常任幹事 (企画)	横澤 靖夫 (2 C)
〃 (会報)	杉本 安弘 (12 C)
〃 (集い)	小野 富雄 (26 H)
監 査	八木 俊雄 (一 C)
〃	河野 一郎 (2 A)
在校 O B 教諭	竹内 常夫 (12 F)
〃	飯沼 美雄 (23 C)
〃	湯澤 一夫 (28 A)
〃	平岩 了 (32 I)

期の表示について、本誌を通じて漢数字は旧制中学校卒を、洋数字は新制高校卒を意味します。

同窓会長挨拶	静谷晴夫(四期 B)	1
平成十三年度 同窓会活動概要		2
母校だより(教職員異動など)		3
教職員異動・在校生の活動		3
志村新校長にインタビュー		4
直撃インタビュー ⁽²⁵⁾	鈴木まもる氏(23期 B)	6
創立六十周年行事特集		8
記念式典・祝賀会の報告		8
フォトグラフ		10
会員活動状況など		12
卒業生進路状況		17
へ校史の一コマへ新制3期の六年生の六年間		18
奨学基金・運営協賛金等協力者		20
十二年度会計報告・十三年度予算		3

目次

21世紀 初の“同窓生の集い”

昨年は創立60周年行事のため行なわなかつたので、2年ぶりの“集い”です。
会員皆様お誘い合わせの上、多数の方々の積極的なご参加を!

10月21日(日) 午後2時～ 母校にて

日 時	平成13年10月21日(日) 午後2時～4時半
場 所	母校 4階 視聴覚教室(予定)
内 容	軽食と飲み物で懇親会を行いますので、クラス会・クラブOB会にもご利用下さい。
会 費	3,000円……同封の専用払込票をご利用下さい。(締切/10月10日)

◎ 恩師・旧職員はご招待です。是非ご出席の程お願い致します。

御招待

卒業25年 ➡ 27期(昭和50年3月卒), 28期(昭和51年3月卒)

卒業50年 ➡ 2期(昭和25年3月卒), 3期(昭和26年3月卒)

上記4つの期をご担任された先生で、当日ご出席予定は、(順不同)

中田重成先生, 渡井栄一郎先生, 朝日良次先生, 太田敏夫先生, 柴崎勉先生,
田村悦子先生, 広見正剛先生, 岩田浩司先生, 松浦桂子先生です。

昨秋の創立60周年行事は大成功

明春の“若返り”新体制の

準備を進めたい

同窓会会長 静谷晴夫

四期B組の静谷です。これからの一年間、引き続き会長をさせていただくことになりました。

文京高校の創立六十周年の諸行事も無事に終り、新体制でスタートするための新たな準備をさせて頂くことになりました。

昨年十月には、かねてより準備をして参りました創立六十周年の記念式典を校内で、祝賀会を外部ホテルで行うことが出来ました。

十年前の五十周年は、新校舎落成の祝賀も兼ねておりましたので、式典及び祝賀会ともに校内で、同窓会が主体で、PTA・学校のご協力を得て開催することが出来、非常に多くのご出席を頂いて、成功裡に終る



ことが出来ました。今回は、PTAに主体となって頂いて、式典は校内で、祝賀会は外部でとの方針で実行されました。外部会場が充分なスペースがなかったため、出席ご希望の同窓生にご参加頂けなかった等、種々のご迷惑をおかけしましたことを、お詫び申し上げます。

主体となり、種々のご苦勞をおかけしたPTA役員の皆様にご心から御礼申し上げますと共に、鈴木校長を始めとする学校教職員の皆様に、深く感謝申し上げます。また終始全力を挙げてご支援いただきました同窓生の皆様に改めて御礼申し上げます。

六十周年行事が終了した機会に、同窓会の体制も一新する予定でありましたところ、学校が校長先生の交替、PTAも学年終了で新任と言う激変の事態となり、この際、同窓会は今年度の中に、新しい若い方々で新体制をつくり、バトンタッチしてから引退するようにと、四月の幹事会で決定されました。よって現役員の方々にもう一年ご協力を頂くと共に、新常任幹事の皆様とご一緒に分担部署を持って頂き、各部門を改革、運営して頂くことに致しました。残すところ数カ月、同窓生の皆様のご協力を得て全力を尽して参りたいと思います。

同窓生の皆様には、会の諸事業に是非ご参加・ご協力頂きますようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

平成十三年度 同窓会活動概要

一、「若返り」新体制の準備

前ページの静谷会長の挨拶にありますように静谷氏が二度目の会長に就任して約十年となる。しかも在校OB教諭を除いた十人の役員も概ね静谷会長を支えて十年になる。この十年間で①「集い」を開始、卒業して25年・50年になると招待する制度に発展させてきた。②同窓会名簿も電算化し、行方不明者の減少に努めてきた。③会報「紫筍」もA B 5判にサイズを大きくし、内容も充実してきた。

二十一世紀となり、卒業生も二万人を超えた現在、もっと多くの卒業生が参画し、なお一層楽しく・役に立つ会に発展させていきたいものです。

その第一歩として、左表の十七人の方に常任幹事となってもらいました。その他の方でも「是非やってみたい」と思われる人は同窓会（新常任幹事を含む役員）にお申し出下さい。

同窓会役員(2) 新常任幹事

氏名	卒業期・組	担当
石崎 英雄	4 F	集い
小浜 洋	7 A	総務
庄司 博夫	7 F	総務
神尾 恵子	11 B	集い
二瓶 鋭二	11 C	集い
君塚 悦子	11 E	集い
木村 正義	12 C	集い
有賀 慶子	12 F	集い
鈴木 孝代	13 C	集い
木内 房	17 F	集い
野中 滋	18 C	集い
大野 公代	19 B	集い
田中 良長	21 D	集い
山口真樹	21 D	集い
相川 政美	28 A	集い
根木 敏孝	28 G	集い
和賀 輝代	28 G	集い

二、同窓会の問題を解決していきましょう。

現在主要な問題は次のとおり。

1、会則は昭和33年に改正されたままです。もう四十数年が経ち現状に適應できなくなっております。

2、財政上の問題 現在は収支均衡しているが、今後新事業を実施すれば経費が必要となる。しかも収入の大半は新卒者の入会金。「入会金」終身会費」と位置づけている。今年度の入会金は一万六千五百円で都立高校では最高レベル。他の都立高校は年会費(概ね二千元)方式を採用している。

3、組織上の問題 クラス幹事が機能していない。

4、機能上の問題 IT時代電子媒体を活用しよう。

三、会報「紫筍」の発行

より一層同窓生のコミュニケーション誌を目指し同期会の開催状況、著書発行、新聞に記事が載ったり、TV出演した場合などは、母校同窓会宛、概要(新聞記事のコピー等を同封)を「紫筍」掲載希望と書いてご送付ください。

四、「同窓生の集い」の開催

今年10月21日(日)母校で開催する。昨年は創立60周年のため開催しなかつたので、卒業25年は27期と28期、卒業50年は2期と3期が招待学年です。多数ご参加下さい。招待学年以外の期の方々も多数ご参加下さい。内容詳細は表紙裏ページ下段をご覧下さい。

職員人事異動 (平成13年)

〔敬称略〕

退職

天野 恵司 数学 (平成11年)
秦 莞二郎 書道 (平成8年)

転出

鈴木 勝利 校長 (平成10年) 江北高校長に
村岡 恒武 国語 (昭和60年) 大泉学園高に
山下 達雄 英語 (昭和60年) 志村高に
室橋 英治 政経 (平成元年) 渚江高に
荻原 章徳 化学 (平成5年) 小山台高に
佐々木 泰子 家庭 (平成5年) 新宿高に
石山 美佐子 事務 (平成9年) 千駄木小に

転入

志村 芳昭 校長 大島高校長より
鈴木 公美 国語 足立新田高より
城宝 保 政経 田柄高より
武田 明憲 化学 足立東高より
阿部 智子 家庭 三田高より
臼田 佐保子 英語 新任
渡辺 穎房 世界史 忍岡高より
中村 重和 数学 目黒高より
湯沢 満男 保健 赤羽商高より
山神 智美 事務 滝野川中より
谷内 一三 事務 大泉養護学校より

恩師訃報

ご冥福をお祈り申し上げます。

玉城 琉先生 平成十一年十一月二十八日逝去

数学

昭和23年 昭和52年勤務

成瀬 穎弘先生

平成十二年十一月十六日逝去

数学

昭和42年 昭和63年勤務

御子柴 栄一先生

平成十三年七月十七日逝去

物理

昭和39年 昭和42年勤務

ブラスバンド部

第41回 東京都吹奏楽コンクール

A組 (大規模楽団) で銅賞に入賞

第41回東京都吹奏楽コンクールのA組の部は、8月12日行われ、念願の金賞の期待があったが、銅賞に入賞した。

〔参考〕最近5年間の成績。(B組は中規模。C組は小規模)

第36回 (平成8年)	8月12日	A組銅賞
第37回 (平成9年)	8月14日	A組銀賞
第38回 (平成10年)	8月12日	B組金賞
第39回 (平成11年)	8月19日	A組銅賞
第40回 (平成12年)	8月8日	C組銅賞
	8月10日	B組金賞・優秀賞

野球部

東東京大会

初戦で城東 (優勝校) に惜敗

城東 梨本監督も文京卒 (34期A)

東東京大会参加校が百四十校ある中で初戦は文京卒監督が率いる二校の対戦となった。平岩了監督 (体育教諭 32期I) 率いる文京と梨本浩司監督 (体育教諭 34期A) 率いる城東が初戦で対決し、城東は「初戦の文京戦が最大の山だった」(8月4日 朝日新聞) というように、以降一層粘りを身につけ、体力に自信を持ち甲子園出場二回目の栄冠をつかんだ。

第一回戦 (7月14日) 駒沢球場			
城東	0 1 0	0 0 2	0 0 3
文京	0 0 0	0 0 0	3 0 0
			3

コーナーを突く抜群の制球力で文京の友利光希投手は力投した。城東の主力、内田稔君とは勝負が続いた。2回表の初対決では友利君のスライダーを内田君が左翼線ぎりぎりの本塁打。4回は友利君の直球が決まり三振にうち取った。七回裏文京は3点得点し同点に。9回表2死三塁 5打席目の内田君を前に友利君は逃げなかった。が、球威の落ちた球を左翼に運ばれ二塁打とされた。

(7月15日 朝日新聞より)

新校長 志村芳昭先生にインタビュー

長期的視点で魅力ある、 特色ある校風をつくりたい

七月二十二日（土）校長室を訪問。一時間ほど志村新校長と対談いたしました。

質問者は杉本安弘（12期C）

文京に来られてのご印象は？

校長 学校らしい学校ですね。建物が「青春の学園」というたたずまいで、生徒が明るく伸び伸びと生活している。

大島高校の校長さんから来られましたね。

校長 履歴を申しますと、新任の深川高校に五年、新設校の清瀬高校に八年。そして新宿高校で十二年、この時野球部長（責任教師）として神宮のベンチにも入りました。だから野球部への思い入れはつよいのです。三鷹高校の定時制の教頭として五年。そして大島高校の校長として三年間です。今年縁あって文京にお世話になることになりました。ですから直前の大島はもちろんですが、十二年いた新宿や新設校の清瀬への想いも深いです。もちろん教員としてスタートした深川はまた別の意味で思い出があります。

先生のご教科は？

校長 国語です。

何か社会科の印象を受けますか？

校長 時には数学の先生といわれますよ（笑）。卒業が東京大学文学部中国語中国文学科ですので、教員免許は国語と英語を持つ

ていますが、ずっと国語を教えてきました。大学時代にはジャーナリズム・マスコミに進もうと思い、NHK等を志望したのですが、はズれてそんなことをいうのもなんですが残りもので教師になりました。

教頭先生になられるまでは国語を教えられていたわけですね。

校長 国語は現代文も文学史も満遍なく教えました。漢文・古典が得意で、現代文は若干不得意です。

先生のお話を伺っていて、私は文京時代の後藤神戸先生を思い出しました。国語・漢文を教わりましたが、漢詩を日本語読みで習った後、中国語で発音して下さったのですが、中国語だと綺麗だと思いました。先生が国語を志望された理由は？

校長 高校時代の国語の先生、市川先生というのですが、魅力的でした。大学で何を志望しようかと考えた時、市川先生を思いだし、中国文学科を選びました。

高校の先生の影響力は強いんですね。先生の卒業された高校は？

校長 都立武蔵丘高校です。旧制の府立二十一中です。「二十一番でなく一番になれ」と教わりましたが。私自身杉並区で生まれ育ち、また父も杉並、母も練馬ですので田舎がありません。

野球部といえば本年は残念でした。

校長 一回戦の城東戦を応援に行きましたが、同点で九回に点を入れられ負けました。城東の梨本監督は文京卒（34期A）で平岩監督の文京も大学も二年後輩で、私が大島高校の校長時代に体育教諭で大島の野球部を強くしました。

私たちの子供時代の遊びは原っぱの野球しかなかった。高校時

代は剣道をやりました。剣道か柔道をしようと思ったのですが、父が早く亡くなり柔道着を買って欲しいと言いつつ、兄の剣道具があったので、剣道にしました。変な経済的理由ですが。

—— 文京の将来ビジョンは？

校長 魅力ある・特色ある校風を作らねばならない。しかし、目先ばかりを追うのではなく、長い目でみた基本的なものを大切にする学校にしたい。生徒に学力をつけ、この学校に行けばその先も安心できる、というようにしたい。

—— 都の審議会で「学区制」をなくそうとされていますが？

校長 文京も第四学区以外からの入学者率は、本年は30%で、来年は40%、15年度からは学区制を撤廃する。まさに競争原理の導入ですね。だからますます「あの学校に行きたい」という魅力を感じてもらわないといけない。中高一貫校も都立大付属で18年度からはじまるが、制度的新しさで生徒を集めようという安易な考え方はとりたくはありません。

—— 先生の高校時代と今の生徒を比べて如何ですか？

校長 今の人は物質的には恵まれているが、大事な基本的なものが抜けている。「物は豊かで心が貧しい」という状況にあるので



すね。私達の時代は逆でしたね。

「物は不足していたが心はまだ豊かだった」と思います。

—— 今の文京生に対してはどうか？

校長 まだ十分把握していませんが、大学に入学する学力をつけさせようとはしますが、本格的な勉強・自宅学習が最近少なくなっている。家では勉強しなくてもよい、受験の時だけやればよいという考えのようです。勉強は部屋・机・参考書等が揃っていればよいのではなく意欲が一番大切ですね。

—— 先ほど競争原理というお言葉がありました。民間ではかなり前からやっています。

校長 学校では昨年から目標管理制度を導入しました。先生も目標をもってどのくらいできたか評価しようとするものですが、学校は一年とかいう短期間で実績を見ることができない。

—— 実績として目に見えるのは大学進学率ですか？

校長 出口・進路指導を生徒の希望・実力にそってしっかり行う。一時「日東駒専」といわれ、文京もこのあたりでした。最近これを超えるものとして「MARCH」といわれました。明治・青山・立教・中央・法政ですね。

—— かつての六大学といったものに近いですね。私達の時代は早稲田に毎年五十から百名位入っていました。

校長 大学進学だけでなく、最近は野球・バレーに魅力を感じて入学してくる生徒もいます。六月の体育祭は雨のため途中で中止かと思っただけですが、野球部員がグラウンドに砂を入れ「縁の下力持ち」として働きました。大変いいことだと思います。勉強でもスポーツでも文京はよくなっていると思いますので、同窓生もご支援のほどお願いいたします。

絵本と鳥の巣と創造力

鈴木 まもる さん

昭和46年3月卒 (23期B)

昭和52年東京芸術大学入学 陶芸を専攻したが、昭和54年中退。絵本作家になる。平成7年「赤い鳥さし絵賞」を受賞。「ヘルシー家のおひさま日記」、「まえむきよこむきうしろむき」(以上金の星社)を始め50冊あまりの絵本を出版。

最近の主な著作 山暮らしエッセー集「鳥の巣の展覧会 伊豆・婆娑羅山の四季」(河出書房新社)

日本初の「鳥の巣の本」/詩画集「鳥の巣のうた」/エッセー画集「ぼくの鳥の巣コレクション」
「世界の鳥の巣の本」鳥の巣を分類体系化した世界初の本(以上岩崎書店)

Q ここには鳥の巣がたくさん展示されていますが、巣は絵を描くために採集されたのですか。

A 15年ほど前に伊豆に引っ越して、木を植えたりとか、野良仕事が好きで、偶然、巣を見つけたのがきっかけで、だんだん巣が増えてきました。造形的に面白いので調べたら、そういうことをしている人は居ないとわかり、そこでこのように展示して世の中の人に見てもらおうと思ったのです。そしてまたそれを絵にしたいと思い何冊か鳥の巣関係の絵をかくようになりました。

Q 確かに友人で鳥を撮って居る人がいますが、巣は撮っていませんね。

A ええ、野鳥の会でも巣とか雛のいる写真は撮らないようにしようという慣習があるんですよ。親鳥が逃げることがあるので巣を見ることは、タブーになっているところがあったのです。専門の方が言うにはそれはもちろん大事なことでけれど、正しく巣とはどういう物かを知ることが大事なのだそうです。例えば、鳥の鳴き声を可愛いと思いますよね。けれども実は鳥を見ている人の足下に巣があつて鳥はそれを警告するために鳴いているということもあります。鳥の巣のことを知ればそう言うことも無くなるんですよ。鳥の巣を見てもらつてより正しい認識を皆さんに持つてもらい、自然をより大事にしようという気持ちや、視線の造形の面白さを見てもらいたいと思つて展示したのです。

Q ここに展示されている巣は全部下田近辺で採集されたのですか。

A いえ、外国のものもあるし、こうして展示する内に知らない方からこんな鳥の巣がありましたと送って頂き、だんだんいろいろな巣が増えてきました。日本で見られる鳥は約五百種類位なん

ですけれども、そのうち繁殖しているのは半分くらいなんだそうです。と言うことは他の鳥は外国で繁殖しているということ、そうするとやはり外国の巣はどうなっているのだろうかというところで世界に広がってきました。

Q 文京高校在学中から美術部に入られて、ずっと絵を書かれていたのですか。

A いえ。絵は好きだったのですけれども、高校の時は美術部とかそういう組織とかが好きでは無かったので、自分で好きには書いていましたけど。美術部には入ってませんでした。生物部には入っていませんでした。動物や自然がずっと好きで。

Q その頃から自然の絵を中心に書かれていたのですか。

A いえ。いろいろなものを書いてました。

Q どのような作品を書いていたのですか。

A まあ、正直いいますと、最初は漫画家になりたくて、高校一年の時は、漫画を書いて講談社に持っていったりしました。でも漫画は週間ペースだったり一色だったりで、どうも僕のやりたいのと違う、もっと基礎的な美術の造形的な勉強をした方がいいと思ひ、芸大を受けたのです。

Q 芸大では何の学科に入られたのですか。

A 美術学部の工芸科に入って、陶芸をやりました。陶芸は個人で出来ないもので、学校の設備を利用して、やってみようと思つたのです。鳥の巣と関係してくるんですけど、何か立体を作りたいので、それに一番近いのが陶器だと思つて、専攻したんです。ところが大学のカリキュラムは同じような食器ものをつくるのが多かったのです。どうも僕の作りたい物と違うので四年になってやめてしまったのです。それで絵だけでずうっとやってきました。そしてさっき言ったように山で鳥の巣を見つけて、鳥の巣を見ると僕の作りたかったものはこういう物ではないか

と言う気がして、今につながっていません。だからぜんぜん関係なくぼつと鳥の巣を集めたのではなくて、やりたかった立体がずうつとあって、それはどういうことかというところ、儲けるためとか、流行ってるからとかではなくて、生きる上に、本当に必要で、習うような事ではなくて、体で自然に出来るくるものを作れたかったのだと思うんです。鳥の巣ってそうですよね。それは絵でも他のことでも同じで、ずっと今につながっていると思うんですよ。

Q 大学を4年でやめられるというのは、思い切った決断ですね。
A 無理にやれと言われてやっても、面白い物が出来ないし、卒業と言う肩書きがどうしても必要でもないし、それならすっぱりやめて、今したいことをしっかりやろうと思えました。その頃は絵の方がかなりメインだったので、その辺はあまり迷わずすつと決めちゃいましたね。

Q 不安とかは無かったですか。

A 先のことは考えてなかったのかなあ(笑)。

*数名の客が鈴木さんの著書にサインを求めに来る。

Q 大学をやめられた後はどうなされたのですか。
A アルバイトで喫茶店のカウンターをやりながら絵を描いたり、子供の絵画教室や、絵本関係の仕事もアルバイト的にやっていた、それから美大受験の予備校で高校生に教えたりしながら、だんだん絵本、童話の仕事を増やしていきました。

Q 2、3年前に伺った時に50冊くらい本をお出しになっていると伺ったのですが、今はどれくらいになりましたか。

A 最初は文も絵も自作で、絵本の形にして児童図書の出版社に持ち込んで、見てもらい、もちろん1回ではOKが出ずに編集の人といろいろやりとりをしてやっと一作目ができました。そ



してそれを見た他の出版社がこういう作者の話で絵を描いてという依頼があったりして、今は自分だけの作品と、いい意味で他の人と共作できる作品と選んでやっています。(合わせるも百冊くらい)

Q 絵本をというこだわりはあったのですか。

A 絵にもいろいろな発表手段がありますよね。画廊を借りたり画商に売ってもらうとか、公募展にだすとか、先生につくとか、組織に行くとか、そういうものがあまり好きではありませんでした。号いくらで買ってもらうって、例えば誰も見ないような社長室に飾られたりとか、そういうのではなくて、子供が日常的に何度も喜んで見てくれるような本の方が、あうような気がしたんです。それで絵本がいいかなと思えました。だからその当時も今もそうですけれど、絵を売る気がないんですよ。やはり自分が好きな物なのであまりお金に変えたくないという気持ちがあるんですね。印刷の場合、原画を描いて貸すだけなんですよ。印税でもらうから絵はまた手元に戻ってきます。だから絵本のような出版物がいいと思えました。

Q 最後にこれからのことについて一言お願いします。

A 日常生活を送りながら感じて何かを作品にしていきたいです。それは絵本であったり、いろいろな物だと思っておりますけれども、各段階で自分の出来る事を、少しずつやっていきたい。だから鳥の巣なども、日常生活の中で見つけた面白い物を自分なりに探していくこととていろいろな物を創りたくります。必然的に文章や詩、絵の幅も拡がり、外国の人とも話す必要ができて、英語の勉強をしたりとか(全然うまく話せませんけれど)。試験とか点数のためでなく、やりたいことのために、いい意味で勉強はいつでもできることです。新しいものを見つけたら、いいのは結果的に自分自身の新しい面を知ることとて、それを自分なりのベストな形で表現していければと思います。外国の人にも見てもらいたいので、外国語版になるよう働きかけたり、鳥の巣の展示会もニューヨークやヨーロッパでもやってみたいと思っています。

七月の夕方、ギャラリー新宿高野で開かれた、「鳥の巣展覧会 & 絵本原画展」を訪ね、約二時間ほどお話を伺いました。妥協することなくひたすら自分の求める物を探す姿勢が、現在のご活躍に、自然に結びついていることを伺い感銘を受けました。

インタビュー

杉本 安弘(12期C)

湯澤 一夫(28期A)

創立六十周年記念式典・祝賀会

盛大に挙行される。

記念式典

平成12年10月7日(土)創立60周年記念式典は、秋晴れの空の下、都議会・教育庁・第4学区学校長・PTA・同窓会の方々のご臨席を頂くとともに、全校生徒が参加し、本校体育館にて、盛大に開催されました。記念式典は、午前10時より開会の辞に始まり、国歌、校歌斉唱へと続き、学校長式辞の後、東京都教育委員会を始め、来賓の方々にご祝辞を頂き、生徒代表のことば、閉会の辞へと厳粛な雰囲気の中、締めくくられました。

記念行事では始めに本校吹奏楽部が、OB田中祥一氏(32期C)の指揮により記念演奏を行いました。吹奏楽部は、田中氏のご指導により、平成12年度東京都高等学校吹奏楽コンクールで金賞優秀賞に輝きました。曲目は次の通りです。

記念行事 吹奏楽部記念演奏

- 曲目
- 1、スター・ウォーズ
 - 2、美女と野獣
 - 3、MISSION..IMPOSSIBLE
 - 4、ハレルヤ
 - 5、ラデッキー行進曲

5曲目の「ラデッキー行進曲」の指揮では、吹奏楽部の発案により現生徒、旧職員、同窓会会長とタクトを引き継いで指揮し文京の伝統と連帯を示すなごやかで象徴的な場面となりました。

落語家としてご活躍の三遊亭圓窓氏(11期C)が記念講演「小学校の教科書に落語が載った」を実演入りで行なった。

*三遊亭圓窓氏のプロフィール(11期C)

1940年東京生まれ。59年都立文京高校卒業。

59年10月三遊亭圓生門下へ。62年11月二つ目昇進。68年

真打ちに昇進、六代目三遊亭圓窓を襲名。73年ライブワ

ーク「圓窓五百噺を聴く会」を名古屋でスタート、二八

年後の2001年五百席目を口演してゴール。落語にパ

ソコン通信を取り入れた最初の落語家。常に新しい落語

を創作している。2000年度には教科書「小学四年

下」(教育出版)に圓窓氏の落語が掲載される。

記念講演 「小学校の教科書に落語が載った」(要約)

現代では人の話を聞いてその場面を思い描く能力の無い若者が増えている。その主な原因としてテレビやテレビゲームなどによる、視覚的情報の氾濫があげられる。多くの若者が言葉だけで頭の中に、一つの世界を想像する体験をあまりしないで育っている。各地で開かれた成人式の混乱にもこの傾向が現れている。

そこで私は学校教育に落語を取り入れる必要性を訴えてきた。三百年の歴史を持つ落語には大事な生活の知恵が含まれていると共に、噺を聴いて場面を思い描く体験を子供たちにさせる事ができる。

この度、その念願がかない、落語「ぞろぞろ」が小学校の教科書に載った。子供たちが授業を通して、落語を言葉で聴き、場面を思い描く能力を是非身に付けて欲しい。

「落語 ぞろぞろ」あらすじ

昔、江戸の浅草の観音様のうら田んぼの真ん中に小さな古びたお稲荷さんがあった。そのそばにおじいさんとおばあさんの二人が細々と営む茶店があった。

ある日、散歩に出かけたおじいさんは、橋のたもとで、

子供が遊びに持ち出したまま落としていったのぼりを、お稲荷さんに届けに参った。おじいさんが店に帰り着くと、雨が降り始めた。そこで店じまいの準備をしていると雨宿りの客が飛び込んで来た。雨が上がると、客はぬかった道を歩くためにわらじを買い求めた。一年前から一足だけ売れ残って、天井につるしておいたボロわらじが売れた。おじいさんが、それを不思議がっていると、また別の客がわらじを買い求めに来た。するとたった今売り切れたはずのわらじが天井にぶら下がっている。それからは客が来るたびに何度わらじをひっぱっても天井裏から新しいわらじがぞろぞろ！このぞろぞろわらじが評判となり店の前は、戸を開けるとずらっと行列が出来ている。

さてこの様子を見ていた茶店の前の床屋の親方は、茶店の爺さん婆さんから「ぞろぞろわらじ」のことを聞いて、お稲荷さんにとんでいった。親方が自分の店に戻ってみると、お客がぞろぞろ、お客の髭剃ってもなんとあとから新しい髭がぞろぞろ。

祝賀会

同日 午後1時15分より 「ホテル・ベルクラシック 東京」で開催された。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1、開会の言葉 | 2、実行委員長挨拶 |
| 3、学校長挨拶 | 4、同窓会会長挨拶 |
| 5、来賓祝辞 | 6、来賓紹介 |
| 7、感謝状贈呈 | 8、乾杯 |
| 9、アトラクション | 10、校歌合唱 |
| 11、万歳三唱 | 12、閉会の言葉。 |

乾杯後のアトラクションでは舞踏家の小林伴子さんによるフラメンコが披露されました。

*小林伴子氏のプロフィール(21期G)

1969年都立文京高校卒業。多摩美術大学大学院(美術研究科彫刻専攻)を卒業後、宝飾デザイナーとして活躍、NYのデビアス国際賞を受賞したが、フラメンコへの思い強く、78年、スペインに留学。「マイテ・ガラン舞踊団」に所属し、欧州各国を公演、また、83年、東洋人として初めてスペイン王立舞踊演劇高等芸術学院の公認スペイン舞踊部師範資格を取得。86年帰国後、高田馬場にスペイン舞踊スタジオを開設。91年、「赤い靴・私抄」で芸術祭賞受賞。昨年(平成12年)現代舞踏協会河上鈴子賞受賞。日本フラメンコ協会理事。

平成7年紫筍38号の「直撃インタビュー」ではフラメンコに出会われるまでを次のように語っている。

子供の頃から踊りが好きでアジア系の民族舞踊を習っていました。16歳の時モダンダンスを始めました。大学の時フラメンコに会い、惹かれました。「踊りが趣味で、彫刻をワーク、ジュエリーデザインをジョブに」と人生設計を描いていたのですが、段々踊りが好きになっていったのです。フラメンコはリズムで踊るので音楽は基本形式の上に演奏家のセンスが生かされます。初心者でそんなことも知らなかった私は、友達の結婚式で「踊ってと頼まれ簡単に引き受けたのですが、伴奏のギター演奏が聞いたこともないメロディーに聞こえて青くなっていました。本番を必死の思いで過ごして『フラメンコ』とは何なのだ」という思いが残りました。フラメンコは本格的なところでは即興的ですが、かなりトレーニングを積まないと即興では踊れません。厳格な規則、合図があり即興で踊ったり演奏したりするためにはこれを体得しなければならぬわけです。(中略)フラメンコのプロになろうと決心したのが遅かった(二十五歳)のでスペインでは他のことにわきめもふらずに修行しました。



記念式典 開会の辞



式辞 鈴木勝利校長先生より



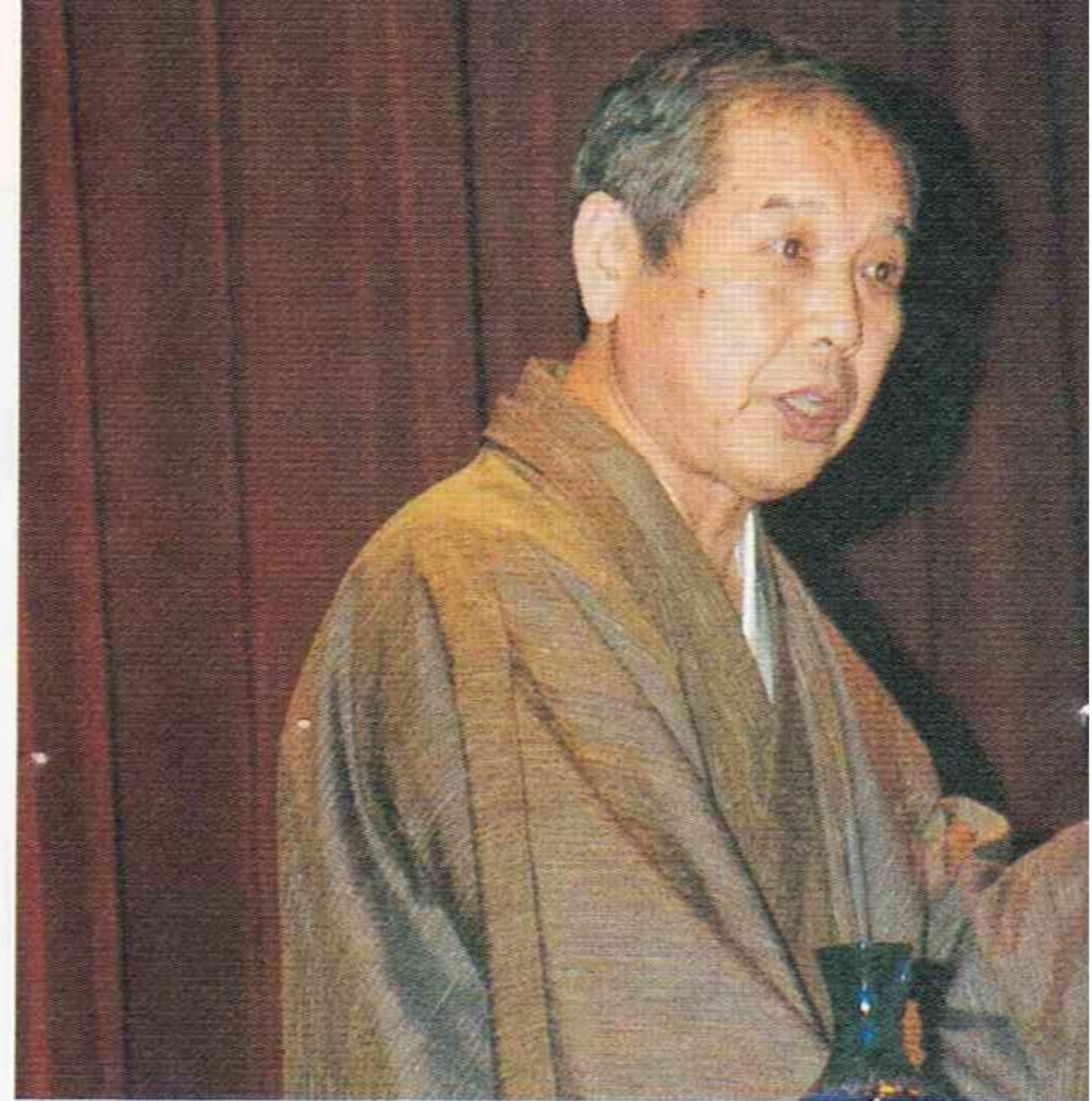
吹奏楽部演奏
タクトを引継ぐ静谷会長

生徒代表のことは





記念祝賀会
懇談風景



三遊亭圓窓氏による記念講演



フラメンコを踊る小林伴子さん



校歌合唱



小島義郎氏（二期B） 研究社より

「ルミナス英和辞典」「ルミナス和英辞典」を出版

本年一月 小島義郎氏は竹林滋氏と共著で「ルミナス英和辞典」と「ルミナス和英辞典」を研究社から出版した。

小島氏が辞書づくりに励まれていた事は「紫筍37号」（平成6年）の「直撃インタビュー」欄で紹介した。編集子は今春、三省堂で偶々「ルミナス」を見つけ購入した。最近、業務で外国との通信（Eメールやファクシミリ）が増加する中、特に「和英」を活用している。使用してみて、この辞書の良さは①五十音びき、②主要単語に「コロケーション」という欄があり、単語の意味・使用法により使うべき前置詞や冠詞等が例示されている点である。

なお小島氏は一昨年六月「英語辞書の変遷」（六百頁）という研究書を出版している。英語が成立した七世紀の「英ラ（ラテン語）辞典」から説き起こし、OEDを経て現代迄の辞書の歴史を記述している。しかも英国だけでなく、米国では独立戦争時代からの歴史、特に二大著者による19世紀の「辞書戦争」や、日本では戦国末期の南蛮人の渡来から記述している。小島氏自身も「大変力を入れて書いた」といわれる立派な学術書である。三省堂で小島氏の著書を検索したところ44冊あったが、著者自身の推奨する著作は次のとおり。（新著から配列）

書名	共著者	出版社	価格(本体)	出版年
ルミナス英和辞典	竹林 滋	研究社	三、二〇〇円	二〇〇一年
ルミナス和英辞典	竹林 滋	研究社	三、三〇〇円	二〇〇一年
カスタム和英辞典	研究社	研究社	一、七〇〇円	二〇〇〇年
カスタム英和・和英辞典	竹林 滋	研究社	三、二〇〇円	二〇〇〇年
英語辞書の変遷	研究社	研究社	八、〇〇〇円	一九九九年
コミュニケーションの英語	岩波書店	岩波書店	七四〇円	一九九六年
日本語の意味 英語の意味	南雲堂	南雲堂	一、九三〇円	一九八八年

小島義郎氏 略歴

昭和16年市立三中に入学。昭和20年卒業（この年は全員四年で卒業）し東京外国語学校（現 東京外国語大学）に入学。昭和23年同校卒業。昭和23年～29年及び32年～35年まで母校（文京高校）で英語を教える。その後、南山大学、日本大学理工学部、早稲田大学教育学部の教授を歴任。平成6年3月早大教授を退職、現在は名誉教授。

株式会社 末商会
 (出光ガソリン・貸ビル・自動車販売整備)
 専務取締役
 一期B **末 正明** (市三会会長)
 本社 〒112-0004 文京区後楽2-6-1
 Tel. 03-3811-0755
 Fax. 03-3815-7818
 飯田橋 Tel. 03-3269-0257 神保町 Tel. 03-3261-5111

一ッ橋印刷株式会社
 代表取締役
 四期C **菊 池 達 長**
 会社 〒135-0033 江東区深川2-4-11
 自宅 〒237-0066 横須賀市湘南鷹取6-21-10
 Tel. 0468-66-1493

山岸税理士事務所
 税理士
 四期B **山 岸 英二郎**
 事務所 〒247-0053 鎌倉市今泉台6-20-2
 Tel. 0467-45-8033

弁 護 士
 二期D **原 田 策 司**
 事務所 〒104-0061 中央区銀座7-5-4
 毛利ビル4F
 Tel. 03-3571-1780
 自 宅 〒145-0064 大田区上池台3-30-1

弁 護 士
 7期D **大 辻 正 寛**
 事務所 〒102-0073 千代田区九段北1-9-14
 九段ハイム707号
 Tel. 3239-4099
 Fax. 3221-9460
 自 宅 〒274-0072 船橋市三山1-11-15
 Tel. 0474-75-9401

有賀慶子税理士事務所
 税理士
 12期F **有 賀 慶 子**
 (野口)
 〒101-0051 千代田区神田神保町2-14
 朝日神保町プラザ 807号室
 TEL. 03-3221-0375

宮本智法律事務所
 弁護士
 18期H **宮 本 智**
 〒169-0074 新宿区北新宿1-8-23
 アムハードビル7F
 事務所 Tel. 03-5386-6911(代)
 自 宅 Tel. 03-3926-5354

弁 護 士
 25期F **藤 澤 知 之**
 〒170-0002 豊島区巣鴨3-21-16
 大坂屋ビル2階
 藤 澤 法 律 事 務 所
 Tel. 03-3949-3770 Fax. 3771

大橋特許事務所
 弁理士
 17期E **大 橋 邦 彦**
 〒113-0033 文京区本郷5-1-16
 NP-IIビル11階
 事務所 Tel. 03-3814-5921
 自 宅 Tel. 03-3957-1533

第八回「東京校歌祭」
声高らかに新・旧校歌と

「紫色旗の下に」を披露



昨年の第八回校歌祭は、10月14日(土)午後1時から日比谷公会堂で行われ、23校(都立21校、私立2校)が出演した。今回は東京消防庁音楽隊も友情出演し五曲を演奏した。

た。鈴木勝利校長も三年連続参加された。また石川晃代PTA会長も開会式から見学されたが都P連の会合のため登壇はできなかった。

我校は13番目に登壇し、34名が参加し、小森豊氏(43期E)の指揮、小林美春さん(46期F)のピアノ伴奏で市立三中校歌、同応援歌(紫色旗の下に)と文京高校校歌を高らかに斉唱した。

今年は10月6日(土) ♪ 第九回校歌祭 ♪

日時▼10月6日(土)午後1時～5時半 我校は3時半頃登壇しますので、出演者は遅くとも2時半にはご来場下さい。

会場▼日比谷公会堂(入場無料)……見学だけでも可。

曲目▼市立三中校歌・同応援歌・文京高校校歌

いづれか一曲でも歌える方は奮ってご参加下さい。

連絡先は 〒一七四〇〇五一 板橋区小豆沢四ノ十一ノ三

杉本 安弘

一期B 川上光男

〒114-0024 北区西ヶ原1-30-1
西ヶ原ペアシティ201号
Tel.03-3915-4665
Fax.03-3915-4650

二期A 樋口良雄

〒112-0011 文京区千石1-24-11
Tel.03-3942-0450

有限会社 フェアリーハウス
(妖精の家)

コーヒー・ウイスキー&レストラン
代表取締役

三期E 小野田 孝

〒114-0024 北区西ヶ原4-61-11
Tel.店 03-3949-0404
Tel.自宅03-3910-1434

株式会社 トキメック情報システムズ
営業部長

2期C 横澤靖夫

〒144-0052 大田区蒲田5-44-14 (佐藤ビル)
Tel. 03-3731-9841
Fax. 03-3735-8310

コニカ総合サービス株式会社
代表取締役社長

12期C 日比野 繁雄

ISO9002 認証取得
「人材派遣業、
旅行業、保険業、
不動産業に関わ
るサービス提供
から付帯サービ
スまで」

〒160-0022
東京都新宿区新宿1-7-1 新宿171ビル4階
TEL. 03-3356-8961 専用内線
FAX. 03-3356-8311 61-5295
E-mail: s.hibino@konica-kss.co.jp

コンビニエント・リカーショップ モンマートみかわや
のみたべや和飲酒家 三喜亭
代表取締役

26期H 小野 富雄

日本ワインコーディネーター協会認定ワインコーディネーター
e-mail: tomio-mon-g@jp.bigplanet.com
〔本店〕〒113-0033 東京都文京区本郷6丁目22番6号
TEL 03(3811)0204 FAX 03(3811)1871
〔三喜亭店〕〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目1番5号
石渡ビル2階 TEL・FAX 03(3812)5061
<http://www.monmart.co.jp/mikawaya.html>

高千穂産業株式会社
代表取締役

10期A 若尾 迪治

〒114-0014 北区田端3-15-3-106
(会) Tel. 03-3822-1421
(自) Tel. 03-3827-3200



GOOD SPEED ALWAYS
いつもあなたにいい旅を
東亜エアサービス株式会社
代表取締役社長

12期F 瀬戸 襄

〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-5-1
JAS MIビル6F
TEL(03)5756-8700 FAX(03)5756-8716
日本エアシステム 座席予約・案内
国内線(03)5457-5566 国際線(03)3699-5551
国内線0120-5-11283 国際線0120-7-11283

株式会社 斉藤商店(精肉・食品卸)
代表取締役

29期F 斉藤 智夫

〒112-0001 文京区白山5-1-15
Tel. 03-3815-5771
Fax.03-3816-2981
Tel. 03-3815-0029

暑に耐へて 激戦の地の 慰霊祭

吉川 典紀 (11期B)

吉川典紀氏(11期B)は、終戦55周年の昨年十月月上旬、日本遺族会の戦地慰霊団(八十名)に参加し、御尊父の最後の地であるパプアニューギニアに行ってこられた。還暦となっても「子供時代、父がいない寂しさ・悲しさを感じた」ことを思い出すと話す吉川氏に戦地慰霊団の紀行文をお願いした。

南十字星と国鳥の極楽鳥を配したパプアニューギニアの国旗と、日章旗が、ロープに結ばれ慰霊碑の背後に張られる。碑の前には白布に覆われた小さな台が用意され、墨書された木製の「英霊之位」が置かれ、水・酒・花が供えられて祭壇が整えられる。供物としてそれぞれが持参した故人の好物、郷里の味覚などの数々が積み重ねられる。

戦に斃れ逝った父親への愛惜・思慕・鎮魂の追悼文が、つぎつぎに朗読され、万感胸に迫る。香煙が漂い周囲を包む中、合掌し首を垂れ回向する。各所での慰霊祭はこのようにして懇ろに執り行われた。

昨秋、私は「亡父の最期の地での供養を」という長い間の願いを、ようやく果たすことが出来た。

各所の碑を慰霊順拝する道すがら、戦跡、遺物の幾つかを訪ね見た。それらは、長い歳月と自然の力に、埋もれ・覆われ・風化してわからなくなってしまうものが多い中で、衝撃的だったのは、密林を伐り拓いた飛行場跡。その後一本の木も植えられず、周囲とは不釣合な広大な荒地のま、であり、樹林には翔ける夢を絶たれた爆撃機が、それでもなお両脚をしっかりと踏んばっていた。また、密林に隠すように据えられた高射砲数門が、今だにじつと青い空を睨みつけている姿。そんな光景はどれもあわれで、悲しげで、胸を締めつけられる。戦争記念国立公園としてのそうした遺物は、これから先幾世代にも亘って物言わぬ語り部であり続けようが、緑濃く、常に赤い花咲く美しいこの国の風景には似つかわしくない。

東亜共栄を唱え、国の為・家族の為と称し、十五万にも及ぶ将兵を、気候風土の全く異なる南海の島へ投入し、「人間の能力の限界をはるかに超えた」過酷な戦闘を強い、十一万余もの戦没者を、出すに至った戦争は、見るにつけ聞くにつけ実に愚かしく、醜く、酷たらしい限りである。しかも、戦没将兵の多くは、未だに遺骨収集もされず眠っているという。私の父親の遺骨もまだ帰っていない。

この熱帯の国は実に美しい。澄んだ空気、煌めく陽光、ぶ厚く濃い緑、それに映えるとりどりの色の花、数多くの蝶や鳥。パラダイスとも思えるようなこの地での、父親の深い眠りは、そつとそのま、にしておき、幾粒かの浜の小石とひと掬いの砂を、遺骨の代わりに持ち帰る。

沈没させられた艦船が湾内でそのま、魚礁となり、絶好のダイビングスポットになっているという。知ってか知らずか、毎年の夏休みには日本の若者が沢山山潜りに来るそうだ。そんな湾を見下ろす丘の上に、一叢の紅い夾竹桃が咲いていた。

父逝きし 南海戦跡 夾竹桃

二期A 湖山聖道

・医療法人社団 湖聖会 理事長

銀座医院 Tel.03-3541-1151
銀座健康管理センター Tel.03-3541-3340
〒104-0061 中央区銀座7-13-15

・医療法人 財団 百葉の会 理事長
・社会福祉法人 苗場福祉会 理事長

虎の門 日比谷クリニック

(人間ドック・消化器(胃カメラ)・泌尿器)
肛門・痛風 各科専門医担当

一期C 山中秀男

自宅 〒152-0002 目黒区本町4-8-20
Tel. 03-3714-9513
医院 〒105-0001 港区虎ノ門1-1-20
Tel. 03-3508-2508

野村医院

院長

一期B 野村 総一郎

〒302-0017 取手市桑原1081
Tel.0297-74-8811

静谷クリニック (内科)

四期B 静谷 晴夫

〒170-0001 豊島区西巣鴨4-6-2
病院 Tel.03-3910-1136
自宅 Tel.03-3910-1219

光陰矢の如し 今を大切に!!
医療法人代表・税理士

四期C はいばら富士雄

〒115-0042 北区志茂1-17-13
Tel.03-3901-8554

小室産婦人科医院

院長

三期E 小室 陽一

〒114-0021 北区岸町1-12-22
病院 Tel.03-3907-0303
自宅 Tel.03-3907-0280

大橋耳鼻咽喉科医院

5期B 大橋 順二

〒114-0023 北区滝野川6-9-11
Tel. 03-3916-8787

医療法人 社団 汀会津田沼病院
理事長・院長

8期D 梶本 伸一

〒275-0016 習志野市津田沼1-18-45
Tel.0474-79-2611
Fax.0474-73-5075

静谷歯科医院 (歯科一般)

4期D 静谷 栄夫

〒170-0003 豊島区駒込3-11-3
Tel. 03-3915-1108

五十年ぶりのハワイアンバンド

塚越 弘二 (3期E)



昨年、卒業以来半世紀ぶりに根本君と再会した。高校時代の話になると、自然ハワイアンバンドの思い出話に花が咲き、またやってみたいね——というわけで練習を始め、残り少ない人生を楽しくやっています。

スチールギター根本政雄(E組)、サイドギター塚越、ウクレレ加藤浩(A組)、高瀬忠璋(C組)、ポーカー高瀬の奥さんで、ウクレレの二人は定年後、いうところの六十の手習いです。

今年三月には建築家の加納敬二郎君(C組)宅のダンスパーティーに出演した。加納の奥さんのフラダンスショーも行った。練習には、なつかしがつて馬場邦夫君(B組)も見に来ました。

ご希望があればサーブします。今は、この秋の同窓生の集いで演奏するために練習に励んでいます。左記にご連絡ください。TEL 〇四三六―四三―九八一四 塚越。なお、練習場は東池袋です。

若い音楽部OB・OGが合唱団演奏会

素晴らしい歌唱力で会場を魅了

昨年11月26日(日) 音楽部で活躍された39期〜46期の17名による混声合唱団演奏会が「音楽の友社ホール」(神楽坂)で行われた。安達陽一氏(40期E)の指揮、小林美春さん(46期F)のピアノ伴奏で「幼年連禱」「ふるさとの四季」「旅の途の風に」の3部構成を練度の高い歌唱力で香り豊かに表現されていました。この会は校歌祭に参加した若い音楽部OB・OGが集まり開催したものです。最後に文京校歌が唱われた。これはレベルの高い芸術的楽曲であり、聴衆もともに歌い会場全体が充実した一体感に包まれ感動の中でフィナーレとなった。

静谷同窓会長が豊島区教育委員会委員に

静谷晴夫氏(4期B)は、本年4月豊島区教育委員会委員に就任した。任期は17年3月迄の四年間。早速「新しい歴史教科書をつくる会」主導で編集された扶桑社版歴史・公民教科書を読むなど勉強に励んでおられる。

株式会社 サトウケミカル
医薬部外品製造販売/化粧品製造販売

4期C 佐藤佳男

〒352-0002 新座市野火止8-16-7
会社 Tel.048-481-2323
自宅 Tel.048-474-8456

老人保健施設 北埼玉ヘルスケアビレッジ
理学療法士 医療法人 純真会

5期E 椎名健二

施設 〒349-1212 北埼玉郡北川辺町麦倉191
TEL 0280-62-3455
FAX 0280-62-3700
自宅 〒112-0005 文京区水道2-11-4
TEL 03-3943-3912

花と式典
株式会社 杉元
代表取締役社長

7期B 松下健一

〒113-0033 文京区本郷5-2-2
TEL 03-3813-5601
FAX 03-3813-5604

勝村建設株式会社
代表取締役副社長
5期D 市川英雄
東京本店 建築部 総括副部長
23期G 山ノ内 裕

〒110-8661 台東区根岸1-2-13
Tel. 03-3876-0111 (大代表)
Fax. 03-3876-6900

鉄筋コンクリート
鉄骨建物、木造住宅、店舗、デザイン・設計・施工
総合建設業

武商事株式会社

10期B 武 禎一

Tel. 03-3941-2621
〒112-0006 文京区小日向2-19-10

植村設計事務所
一級建築士

7期D 植村邦夫

〒113-0001 文京区白山1-29-10
Tel. 03-3811-6612

一級建築士事務所
加藤友和建築設計室

19期I 加藤友和

(事) 〒115-0045 北区赤羽2-56-10
Tel. 03-3903-4710
(自) 〒351-0035 朝霞市朝志ヶ丘4-10-13-409
Tel. 048-474-2085

昭和49年発足。「毎月の例会が待ちどおしい」という声が高まるくらい、月例会(既に320回を超える)は益々盛んに。春は母校での講演会(講師は会員)、秋のグルメ旅行、忘年会・新年会と懇談しながら学ぶ楽しい会です。

同窓有志のサロン 市三会

入会希望者は 末 正明(一B)、川上光男(一B)、滝谷敬一郎(12D)まで

※なお詳しくは末 正明まで 〒112-0004 文京区後楽2-6-1 Tel.03-3811-0755

手島堅次氏(三期E)が勲四等に叙せられる。同窓生で初叙勲(?)
 本年春の叙勲(4月29日)で手島氏は勲四等に叙せられた。氏は警察庁、自衛隊、消防庁で勤務され、消防庁での活躍が認められたものです。

2期会
 卒業50周年同期会を創立60周年祝賀会の日と同じホテルで開催。今年の2期会は10月21日 大塚「すし常」で

2期の会は昨年10月7日午後3時より、大塚「ベルクラシックホテル」三階で開催。22名が集い旧交を温めた。四階の母校創立60周年祝賀会終了後、菅野・橋・中田の三先生も参加され、和やかに歓談した。本年は10月21日午後5時から、大塚「すし常」で開催する。(2期A 清水一彦氏より)

10期会
 4月21日開催 二年ぶりの同期会に71名が参加

4月21日、10期同期会を池袋「サンシャインプリンスホテル」で開催した。総勢71名が会し、二年ぶりの同期会に旧友が和し、片想いの告白や、卒業43年ぶりの再会等があり、大変有意義であった。次回は二年後、相馬氏(10期A)が代表幹事となり開催する。(10期E 箕輪恵三氏より)

3期会
 卒業50周年同期会を、10月21日夕5時より 大塚「川金」で

十年ぶりの3期同期会を「集い」終了後、大塚駅北口「川金」で開催します。担任の先生も渡井先生おひとりとなりましたが、多数御参加下さい。(3期A 太田敏夫氏より)

続報
 「昭和22年中等学校東京大会」に大きな反響、新情報により、準々決勝オーダー表を拡充 菊池達長(四期C)

昨年の「紫筍」43号13頁記載の記事は、当時の五年生(旧四期・新1期)・四年生(新2期)の同窓生に大きな反響を与えた。同期会・電話等での記憶の確認作業が行われた。特に屋代晴夫氏(新

2期)からは当時の写真も大事に保管している旨の連絡あり。

また当時の野球部長・後藤守生先生から当時の情報・思い出の電話連絡があったので、準々決勝のオーダー表を改めて掲載する。

準々決勝戦オーダー

氏名	卒業期	現職(同窓会名簿による)
(中)古沢 一晃(5年)	四A大倉高商に	—
(遊)岡村 康雄(4年)	2期	(不明)
(投)伊藤 武(5年)	四B中大に	S62 逝去
(三)務台 良夫(5年)	四B早大に	千代田洋紙(株)社長
(一)岡崎 英夫(5年)	四B早大に	H8 逝去
(捕)石原 琢也(5年)	1A明治薬大に	八重州印刷(株)社長
(二)木崎 稔(5年)	四B	逝去
(左)屋代 晴夫(4年)	2B早大に	自営業
(右)原田 克巳(5年)	四A早大に	S47 逝去
(補)伊藤 勝弘(5年)	1A	逝去
矢野 堯(5年)	四A早大に	H8 逝去
牧 孝昌(5年)	四A早大に	逝去
菊池 達長(5年)	四C中大に	一ツ橋印刷(株)社長
谷川潤太郎(4年)	2A	—
尾形 悦郎(4年)	2D東大に	癌研究会付属病院院長
黒沢 易彦(4年)	2D東大に	—
鈴木 公明(3年)	3D早大に	—
監督 小室陽一(卒業直後)	三E日医大に	産婦人科医師
部長 後藤守生(体育教諭)		

(注) 卒業期、漢数字は旧制中卒、洋数字は新制高卒

講談師 神田 甲 陽

(平成元年山陽師匠より真打ち認可) サラリーマン講談と名打って全く新しいジャンルの文学講談を確立する。「救ライの母・小川正子の生涯」など
 3期B 末 利光 Tel. 055-253-8772

村口 昌之 建築家 5期B

日本工業大学 建築学科教授
 human
 人間時
 Space time
 SPACE CONCEPT
 TEL. 03-5701-2131
 FAX. 03-5701-2132
 e-mail: sconcept @ mxl.alpha-web.ne.jp

古流松慶会家元・会長
 千家表流茶道宗家

5期D 若 林 百合子

〒113-0022 文京区千駄木2-31-4
 (自) Tel.03-3821-9476
 (勤) Tel.03-3827-7018

あなたの夢に具体的
 I SUPPORT YOUR DREAM
 あさひ銀行
 グループ

あさひ銀プロパティ株式会社
 不動産調査センター部長

12期C 榎 木 正 義

(中小企業診断士、宅地建物取引主任者)
 Tel(勤) 03-5472-5621 (自) 042-942-8124

日本自動車ジャーナリスト協会
 (AJAJ) 会員

5期B 福 永 頌

(筆名 鈴木 五郎)

〒186-0003 国立市富士見台1-28-1-35-403
 Tel.042-577-3750

宗家 松本幸四郎
 家元 松本 錦升(市川染五郎)
 日本舞踊 松本流理事

12期F 松 本 幸 慧

山田(小日向)百合子
 自宅・稽古場 〒181-0005 三鷹市中原1-6-15
 Tel.03-3309-5887
 横浜教室 横浜市南区西中町1-17 自治会館
 東急「黄金町」駅2分 Tel.090-2675-6210

写真感光材料工業会
 専務理事

12期C 杉 本 安 弘

(勤) 〒102-0082 千代田区一番町25
 J C I I ビル
 (自) 〒174-0051 板橋区小豆沢4-11-3
 Tel & FAX 03-3966-6056

経営企画、経営問題のご相談に応じます
 マネジメント・プログラム・ディレクター

12期D 滝 谷 敬 一 郎

ディー・エム・エス・インターナショナル
 滝谷国際経営事務所長

〒101-0051 千代田区神田神保町3-10 宝栄ビル7階
 Tel.& Fax. 03-3239-6561 e-mail takitani@aol.com

スペイン王立舞踊演劇高等芸術学院
 (コンセルバトリオ・デ・マドリー)公認師範

21期G 小 林 伴 子

スタジオ
 〒171-0033 豊島区高田3-13-8
 ヨシミビルB2
 Tel & FAX 03-3980-5658

卒業生進路状況

1. 13年3月卒業生(53期)の進路

	区 分	男子	女子	計
進 学	4年制大学	62	45	107
	短期大学	2	25	27
	専門学校	15	35	50
	計	79	105	184
就 職	公務員	1	1	2
	民間企業	7	3	10
	計	8	4	12
	未定(浪人)	57	30	87
	合 計	144	139	283

本年度の特徴は

- 1) 4年制大学への進学が107名と全体の約38%(昨年35%)と増加しました。残念ながら国立大学の現役合格者はいませんでした。
- 2) 昨年より減っているのは短大27名(昨年37名)、専門学校50名(昨年53名)です。
- 3) センター試験利用大学が増える中、センター試験を申し込む者は年々増加しています。またAO入試など入試形態が多様化し、それに従って受験延人数も大幅に増加しています。しかし、これが国公立大受験に結びつかないのが現状です。
- 4) 今年度特に目立ったのは、学業成績が極めて優秀な生徒の多くが指定校推薦・一般推薦で進路を決定したことです。先生側としては、これだけの実力とやる気があるなら猛然と受験勉強に取り組み一般試験で勝負してほしかった……という気持ちが残ります。

2. 学校別

校名の右数字は現役と浪人の合計数です。

1) 四年制大学

(1) 国公立大学

(国立)	
埼玉大学	1
千葉大学	1
国公立大学四年制合計	2

(2) 私立大学

青山学院大学	2
麻布大学	1
亜細亜大学	4
江戸川大学	1
嘉悦大学	1
学習院大学	1
学習院女子大学	1
神奈川大学	3
神奈川工科大学	1
神田外語大学	3
北里大学	1
共立女子大学	1
敬愛大学	1
慶應義塾大学	1
恵泉女学園大学	1
工学院大学	2
国学院大学	5
国士舘大学	2
駒沢大学	5
実践女子大学	1
芝浦工業大学	1
淑徳大学	2
順天堂大学	1
城西大学	6
湘南工科大学	2
昭和女子大学	1
女子栄養大学	2
女子美術大学	3
白百合女子大学	2
聖学院大学	1
成蹊大学	4
成城大学	2
聖心女子大学	1
聖徳大学	1
専修大学	6
洗足学園大学	1
創価大学	5
大正大学	2

大東文化大学	10
高千穂大学	2
拓殖大学	1
多摩美術大学	1
千葉工業大学	4
中央大学	4
中央学院大学	1
帝京大学	8
東海大学	7
東京家政大学	3
東京経済大学	3
東京工科大学	5
東京工芸大学	1
東京国際大学	2
東京情報大学	2
東京電機大学	6
東京農業大学	4
東京理科大学	1
東洋大学	31
獨協大学	1
二松学舎大学	1
日本大学	20
日本女子大学	1
日本体育大学	5
フェリス女子大学	1
文化女子大学	2
文教大学	2
文京女子大学	2
法政大学	10
武蔵大学	4
武蔵野女子大学	2
明治大学	6
明治学院大学	4
明星大学	2
目白大学	1
立正大学	4
麗澤大学	1
早稲田大学	2
和洋女子大学	1
私立大学四年制合計	249

四年制大学合計	251
---------	-----

2) 短期大学

(1) 国公立短期大学

(公立)	
千葉県立衛生短大	1
東京都立短大	1
国公立短期大学合計	2

(2) 私立短期大学

青山学院女子短大	3
大妻女子大学短大	1
嘉悦女子短大	2
駒沢短大	1
駒沢女子短大	1
実践女子大学短大	1
淑徳短大	1
十文字学園短大	1
昭和女子大学短大	1
女子栄養短大	1
拓殖大学短大	1
鶴見大学短大	1
東横学園女子短大	1
東京家政大学短大	8
東京農業大学短大	1
東洋女子短大	1
富士短大	1
文化女子大学短大	3
明治大学短大	1
山脇学園短大	1
私立短期大学合計	32

短期大学合計	34
--------	----

校史の一コマ ⑦

3期生の六年間

本年、卒業50周年を迎えた3期生は、昭和20年4月、豊島中六期生として入学。入学式の翌日校舎は空襲で全焼。文京区内の小学校に間借りしながら勉強した。新制高校発足時に当時の所在地から「文京」となり、昭和26年3月卒業式の日だけ現在地に戻つて来た。この激動の六年間を本校の国語教師にもなられた太田敏夫氏の日記をもとに再現してみた。

豊島中・文京高の六年間

太田 敏夫 (3期A)

一九四五(昭和二十年)年。この年の日記はない。小学校卒業から中学校一年終了までの一年を簡単に記す。

三月五日 ほぐ八か月の宮城県鳴子での集団疎開を終えて、東京に帰る。国民学校(小学校)の卒業式は空襲のため中止。(三十一年後の十月三日に卒業証書を受けた。)下町では、帰京したばかりの六年生が三月十日の大空襲で多数亡くなる。

四月十二日 都立豊島中入学式(入学時点では旧制中学校としての本校の六期生。男子のみ)。式中空襲。

翌日夜の空襲で校舎焼失。一面焼け野原。以後、ツルハシ・クワ・スコップなどをかっいで、焼け跡かたづけや校庭を耕して野菜を作るために通う。都電も焼けて、徒歩で通った。

五月 学校に隣接する、外壁だけを残した都の建造物の整理が終わって、九中(現北園高校)から黒板・机・いすを運んできて仮校舎とする。

五月二十五日 小石川竹早町(現小石川五丁目)のわが家、空襲で焼失。母、東大病院入院。父、防空壕から会社に出勤。私は学校に行くわけにもいかず、かゆを作って、弟(五歳。後に文京に入学。十一期)を連れて本郷まで徒歩で運んだり、配給物を買うために行列に並んだり、芋の粉を練って焼いて弟と食べたり、壕の中から空中戦を見たりして一日を過ごす。

六月 母の退院とともに、大田区馬込に親戚の一室を借りて転居。

八月十五日 敗戦

十一月 留年するつもりでいたが、復学。学校は文京区関口台町小学校に移転していた。通学は大井町線の中延から大井町、京浜東北

線で東京駅か神田、中央線で飯田橋、都電で江戸川橋と、四本乗りついた。ひどい混雑で大井町線ではホームから直接、電車の連結部分にしがみつき、都電では車輪の上あたりの突起物に足を乗せて、「乗る」といいながら、電車の外側に乗ることもしばしばだった。京浜東北線で走行中、両足を床から離しても、そのまま床に落ちないことも経験した。

一九四六(昭和二十一年)年

二月 関口台町小から、文京区元町小に移転。机・いすを持った長い列が引越しをして、以後一九五一(昭和二十六年)年三月まで満五年をここで送り、卒業式だけを大塚の地で行うのである。

五月三日(金)曇。晴れ間あり、又小雨あり。

近頃は悪天候続きだ。今日は戸田橋農場へ行き、馬鈴薯を植え、南瓜畑と自分の畑を耕した。矢島君と連合で玉蜀黍を植える事にした。せりをつんで家に帰る。

五月四日(土)晴れたり曇ったり。

朝、戸田橋農場に玉蜀黍と南瓜を植えた。解散後、よもぎを取ったり、えびがにを釣ったりした。

戸田橋上にトラックが故障していたので、押してやった。故障がなおってから、藤木君と共にトラックの俵の上のところがって新宿まで行き、その車の助手と洗足まで一緒に行った。その人から塩をいただいた。

五月五日(日)小雨

節句。我が豊中開校記念日。十時頃、父母とタドンを作った。

一九四七(昭和二十二年)年 省略

一九四八(昭和二十三年)年

十二月二十二日 先日より二学期末の卓・籠・排・庭の四種目の校内対抗が行われて来て、本日卓球の決勝を行ったが、覇権は遂にB組がにぎった。選手は富岡・神戸・大村・中村・越村・太田の六名。

十二月二十六日 新宿地球座へ、「ヘンリー五世」を見に行く。ウィリアム・シェイクスピアの戯曲を映画化したもので、イギリスのグロウプ座出演、テクニカラー映画である。僕の見ると総天然色映画としては、この秋阿部・比田井の両君と帝都座で観た「ステイトフェア」に次ぐ、二つ目のものである。カラーについて見ると、前者は着色が濃すぎて

自然さを欠き、顔等はお面でもかぶっているように濃くて肌の色が出ていなかったが、「ヘンリー五世」のではずっと良く、顔の色などもきれいに出ていた。

十二月二十八日 昨日、今日と二日間、学校へ金網作りのアルバイトに行く。来ていたのは、鈴木公明、村主・福島・設楽・遠藤君等。奥田校長・渋谷先生が手伝ってくれた。二五〇円もらう。

十二月三十一日 新制高校初の一年生としてこの春出発した我々も、既に二つの学期を修了し、一月十日より三学期を迎えることになった。

一九四九(昭和二十四)年

一月二十二日 新宿の都立六高(現新宿高校)で社会科教室主催の「教科書民主主義上」に対する生徒側の意見を聞くという座談会あり。菅野先生に行くように言われて出席したが、皆良く勉強している。

四月十五日 育英資金一月五百円を、一月から五月分迄受ける。計二千五百円也。カバンを買った。後は何をしようか。

七月九日 学校の尽力によってガリ版の講習が行われる事となった。講師は橋先生の旧友(?)で寺田という、同心町で謄写版屋をやりながら勉強を続ける人。……一応書けるようになって、大学に入るようになった時の経済的な支柱にしたいと思っている。

ピンポンと勉強とガリ版は鼎立しそうなものい。「立つ鳥後をにごさず」と言うから、一学期のしめくりをやったら、卓球部と手を切ろう。何しろ忙しい。全部不完全にやるのは耐えられない。

八月六日 今年になって読んだ本で憶えているのは、

樋口一葉選集(神永君より借用)、ウージェニイ・グラランデ、従妹ベツト(バルザック。世界名作全集。神永君より借用)、哲学の話(大島正徳著。阿部君より借用)、大津順吉(志賀直哉著。石井・中島両君所有)、片恋(ツルゲーネフ。四迷訳)、肖像画(ゴーゴリ。四迷訳)、月あかり(久保田万太郎)、潮風(里見淳)、エトランゼ(仏蘭西紀行)(島崎藤村著。神永君より借用)、宣言(有島武郎。大きな影響を受く。谷間の百合(バルザック)、牛肉と馬鈴薯(国木田独歩)

八月三十日 阿部先生は昨日肋膜炎で九段

下の長谷川病院に入院されたとのこと。

九月七日 阿部・長本・木越の三君と写真をとる心算で神田へ行ったが前金との事、皆持ち合わせがないので撮れなかった。

阿部先生を長谷川病院に見舞う。やせておられたが、だいぶ元気な様子。体温表を見ると、先生も奥さんも熱はあまりないようだ。先生は四十歳、奥さんは二八と書いてあった。

十一月三日 文化の日 九時半頃から江口雄次郎君と、すっきり晴れた秋の陽を窓一面に受けた学校の図書室で世界史発表に使用する欧州人種移動図の作製にかかり、二時間余で完成。昨夜のことから考えると、協力というところが如何に有益かを如実に知らされた。昼食後は都筑・大内・神谷・前島君らと卓球をやった。

十一月十二日 我が校文化祭 午後の部。劇「署長さんはお人好し」は署長(池沢正)が良かった。小学校の独唱・ピアノ独奏・ガラクタバンドは午後にならなかつたが、これにはヤジもなく拍手も活発。ハーモニカバンドはなかなか上手だったと思う。特に高梨君。辻君のジャズピアノには阿部君が行き当たりバッタリの解説をやった。マイクが故障で彼の声を通らないときてのだから前の方にしか聞こえなかつたことだろう。

午前の部にひきかえ、内容も良いし、女学生が十数名現れたので、汚いヤジもあまりなくなつた。見甲斐があつた。しかし、弁論の時のヤジは猛烈で、村木和夫氏のは「デスネ」を売りに来たようだった。演題は「講和条約云々」。河野一郎氏「東洋人よホコリを持って」(?) ヤジは最高潮に達したが、彼はなれたもので、自分の言いたいことを例の調子でしゃべつた。

最後の「我楽多小屋」は演技、面白味の点で皆の気持ちをつらえていたようだ。特に人見(玉盛貫之)、正木栄子(豊田文子)はうまくつた。理想主義と現実主義、どっちもよくて決断に苦しむ者(正木和夫)——遠藤の徳さんがやった)三つ巴の中から生まれたものは、とにかく努力してやっつて行こうという事。

十一月三十日 辻君があらえびすの「レコード名曲決定盤」の古本をさがして売って、新本で定価六百円なのを四百五十円で売っていたので知らせてやったら案内してくれと言うので、阿部君と三人で神田に行った。

一九五〇(昭和二十五)年

十一月十五日 だるい。何も手につかぬ午後である。

十二日から昨日まで三日間体育祭における奮闘は、その前の幾日かが勉強と寝不足で弱っているだけに強く響いてしまった。肩は張り、筆持つ手は重く、夕べ十時間余も睡眠をとつたのでやわらぎはしたが、まだ少々疼く足も気になるし、頭もぼおつとしていた。……

体育祭の経過について触れておこう。十二日、各学年合併によるクラス別競技会。A組は初め不調で、半ばまでF迄六クラスある中の最下位に甘んじていたが、我が出場のパン喰い競争あたりから盛り返して、最後にはB組に六点差をもって続く二位に達していた。十三、四日の球技の点を合計してB組を抜けばAの優勝という事になる。……なお尾形悦郎氏——どうもぎこちない、エッチャンに運動会で会つたことをつけ加える。それに牧さん、望月さん、山本さん、最上さん、静谷さん、森さん等の顔も見えた。

池袋で阿部君と別れ、菅野先生宅を訪れ、原敬日記首相時代篇上下をお借りして帰宅。……体育祭のおかげで数学がおくられてしまつた。前に不等式でつまづいたので、計五日のロスが出てしまつた。十九日迄の四日間の休みに、出来るだけ挽回せねばならぬ。歴史のレポートも作らねばならないので忙しい。

十一月十九日 我が校文化祭。……遠藤君が「最後の人形」と言う劇をやつたが、三日間徹夜したといつて、鼻血をこわばらせた、やつれた顔で活躍していた。……遠藤君に言つてやらなかつたが、涙を見せていた人があつた。……明日は告げてやらねばなるまい。C組の連中が八木節を演じたことを記しておこう。

辻君が咽喉を病み、ペニシリンがなければ命にかかるところだつたとか言つて、眼をくぼませていた。

十二月二日 「自治会を出す新聞を学校で事前検閲して思わしくないものは強制的に削らける。そして、その事に対する我々の討議も認めない。学校でいけない事は絶対いけない。このように学校は我々の新聞の自由を抑圧して、一方的な指導のワクに入れてしまつ。内池・東川君らの言はかくの如きもので、学

校の暴力を組で訴えた。

組では、それはひどい、学校側に申し入れをしよう」と決議……して内池君らによつて決議草案が作られ、今日は組の自治会で審議した。

彼ら独特の文体で相当に荒い言葉遣いで書かれたものだった。で、修正・削除などの意見が出て、だいぶ削られたが、もともとこの文体は消える道理がなく、幾分文調がおとなしくなつた程度のものである。これをもって校長のところへ行くのだが、出来るならば我々自治委員ばかりでなく、多くの諸君に来てもらいたいと言う東川・内池君の言葉に従つて、総勢十何人かで職員室に行った。

その後、講堂で歴史の講演があつた。講師は、世界史が成蹊大のオナベ氏、日本史は東大史学会の遠山氏で、共に有意義であつた。

オナベ先生は、これからの世界は社会主義的傾向をとり、資本主義国家に於ては社会保障の強化に向かうだろうが、共産主義的国家と社会保障制度の進んだ資本主義的国家の両立状態になろう、と言つた。

遠山先生の自由民権運動にかんする講演は実に流暢で明快だつた。

一九五一(昭和二十六)年

一月十三日 二時限目、菅野先生が欠席されて、阿部先生が三十分ばかり、感慨深げに話をされた。苦痛のどん底を共に過ごした六年間、やはり胸に迫るものがある。

この六年、先生も老いられた。この、思えば長い月日と一緒に送つて、もう別れが迫つている。最後の教室での話であらう。

真実あふれ、愛惜こめてぼつぼつと語られる教訓に、皆静かにならざるを得なかつた。悪党づらししていても、やはり悪党ではあり得ない。反逆した者——というのは大げさだが、すねに傷もつ悪党づらの方が、よりやるせない悲しさがわく。

先生の体験からにじみ出た勤労や結婚について、先生の傾聴に値する話。我々と比べるべくもなく人生を知る。

三月一日 卒業式。講堂のみ完成した大塚の地で行われる。「入学式の翌日空襲で焼かれた本来の校地に六年ぶりに卒業式の日だけ戻つて来た」と学事報告を読み上げる阿部先生の声は感激からか涙声であつた。

奨学金 協力者 (1口 5,000円)

平成12年8月～13年7月

(卒期の漢数字は旧制中学卒, 洋数字は高校卒です。)

10口	静谷 晴夫	四B	1口	川村 長一	2C
	宮川美知子	25C		尾形 悦郎	2D
6口	矢島 稔	3E		野本 林	4E
2口	柳澤 融	一C		椎橋 章二	6A
	深澤金次郎	一D		鈴木 和雄	6A
	無名氏	二A		清野 公夫	6B
	田中 和夫	二B		櫻井 清	7D
	細田 純生	三C		西田 信嗣	8C
	河野 進	1AB		田畑 寿子	10B
	清水 一彦	2A		箕輪 恵三	10E
	太田 往男	5B		吉川 典紀	11B
	梅澤 隆子	8A		渡辺 勇	11B
	梶本 伸一	8D		田巻 正彦	11C
	大塚 和子	10A		渡辺 数樹	11F
	太田 正明	14B		園部 禮子	12E
	上村香代子	22B		猪瀬 敏明	14B
1口	時國 匡夫	二E		那須 妙子	17A
	後藤正八郎	三E		唐橋幸市郎	18H
	小室 陽一	三E		山田 能子	19E
	新倉 和夫	三E		田中 道子	19F
	信田 重昭	1AB		吉井 清志	52B
	高橋善一郎	2A		近藤 辰紀	52F
	森 理	2A		吉井 正明	52G
	長縄源太郎	2B			

平成13年3月卒業生(第53期)のうち, 学校側で選んだ43名に対し, 図書券(1万円分)を贈りました。

同窓会活動にご協力を!

同窓会は市立三中・豊島中・文京高校で学んだ者たちの会です。「同窓会」を再認識して下さい。利害を離れた異業種交流の場であり, 先輩の生き方を知る場となるでしょう。そして新たな友情が生まれる場となるでしょう。協力の仕方としては次の方法があります。

1. 同窓会の運営に協力しよう。……2ページ記載の如く常任幹事を増員しています。母校のため・同窓生のため御協力いただける方はどしどし応募して下さい。新企画(例えば「指とま」だけでなく文京のホームページを作ろう)のある方は是非ご参加下さい。
2. 資金的協力をお願いします。このページの同窓会運営協賛金や奨学金の拠出です。「紫筍」同封の郵便振込をご活用下さい。
3. 名刺広告のお願い。1コマ1万円をお願いしておりますが, 旧制(漢数字)の方は70歳以上になりました。40～50歳代の若い方々の応募をお願いします。同窓会宛郵便でご一報下さい。

同窓会運営協賛金等

平成12年8月～13年7月

払込票の「その他」でのご送金, 払込票のどの項目にも○印のないご送金, 寄付・祝儀としていただいた分などを含みます。

5万円	桜井 平八	三D	吉澤 清志	四A	
静谷 晴夫	四B	小室 陽一	三E	嶋崎 隆啓	四C
		竹村 隆司	三E	佐藤 裕	2A
2万円	新倉 和夫	三E	森 理	2A	
矢島 稔	3E	岩井 一夫	四B	長縄源太郎	2B
		信田 重昭	1AB	高橋 富照	5D
1万円	川村 長一	2C	関根 五男	10D	
小倉 恒雄	一B	尾形 悦郎	2D	原田雄一郎	14E
柳澤 融	一C	野本 林	4E	落合レイ子	17E
深澤金次郎	一D	尾形 佳郎	6C	本郷 義博	19H
和田 實	一D	藤條 智毅	7C	村上 和夫	22B
細田 純生	三C	布村 春美	8B	伊関 明子	25D
坂本左右介	四C	西田 信嗣	8C	窪田 仁志	30G
原 巍	1AB	田畑 寿子	10B	鈴木 真利	38G
清水 一彦	2A	箕輪 恵三	10E	野村明希子	48H
河野 毅	4C	渡邊 勇	11B		
後藤 博志	4C	佐々木 望	11D	3千円未満	
榎本 幸三	4E	滝谷敬一郎	12D	木下 昌宏	6B
梶本 伸一	8D	園部 禮子	12E	小林美一子	7A
中谷達次郎	8D	向井知恵子	20D	小串 玲子	7B
青山 明美	8F	松岡 博昭	22F	中尾 充宏	7E
増沢 一郎	12C	深井 恵子	26A	斉藤 恵子	9B
猪瀬 敏明	14B	羽場 弘明	27C	青山 一郎	11C
		岩沢美津子	36E	佐藤 公博	12C
5千円	川中 昭治	一B	宮崎 茂幸	34I	
		3千円	船越 瑞恵	41F	
田中 和夫	二B	渡辺 元	一A	石田浩太郎	48G
田邊 市郎	二D	田村 嘉男	二E	岩下 均	49A
飯坂 忠昭	二E	佐藤 有道	三C	53期生積立金より	

編集後記

今号は昨年10月開催の創立60周年行事の特集のため従来より四頁増やした▼そこで在校OB教諭の湯澤一夫氏(28期A 国語)に6頁、11頁の六頁分を担当願った。▼「紫筍」編集すること八冊目、今回ほど過少と過多を感じたことはない。在校生の活躍が少なかった。野球部はじめ皆の努力は認めるが、結果が出なかった年なのか▼過多は同窓生の活躍なり。御提出いただいた文章を削ることに専念した。事情ご賢察の上ご寛恕の程を▼表紙は新校舎完成以来、「校舎」で飾った。現

サイズに改判以来、パノラマ判にしたが、ここで表紙の原版作成者を打ち明けると、写真(37号、41号)は編集子自身(但し38号の空撮は業者撮影)。42号から今号の版面は八木俊夫氏(一期C)。二人は競争関係にある写真会社の元社員。仲良くできたのも同窓のゆえか▼静谷会長も21世紀を担う「若返り人事」を行うと宣言。お神輿は多数でかついだ方が楽しい。多数の同窓諸兄弟の御協力を願う。(杉本 安弘 12期C)

平成13年度予算案

[平成13年4月1日～平成14年3月31日]

会長 四期B組 静谷晴夫

〔財産目録〕	
〔預金合計〕	40,433,410円
基本財産	
信託預金・定額貯金等(据置き)	33,263,444
奨学金基金	
(据置き)	6,769,966
周年行事準備積立金	400,000

〔収入合計〕		11,061,285円
前年度繰越金		4,868,915
入会金(終身会費)		
(16,500円×282名-630円)		4,652,370
預金利息		40,000
賛助金・奨学金・運営協賛金等		1,200,000
同窓生の集い会費等		300,000
〔支出合計〕		7,100,000円
名簿発行費		
400冊・枚葉(435組)		2,000,000
会報(紫筍)発行費		
印刷・発送費・郵送料・振込書・封筒他		2,400,000
奨学金		
図書券(10,000円×45名)		450,000
母校後援費		
部活動・進路指導等		200,000
同窓生の集い開催直接費		700,000
校歌祭後援費		120,000
慶弔費		100,000
幹事会費		
通信・交通費・飲物代		130,000
運営費		
通信・交通・記録費・用品代等		300,000
予備費		500,000
積立金		
周年行事積立金		200,000
〔繰越金〕	期初運営費	3,961,285円

卒業クラスの名簿の空白部分を埋めましょう。
また誤り・変更がある場合も同窓会宛、葉書または封書で連絡いたしましょう。
同窓生一人ひとりの小さな心づかい・行動が同窓会活動の基本です。
同窓会への連絡は、
〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨1-1-5
東京都立文京高等学校 同窓会
宛郵送にてお願いいたします。(電話不可)

平成12年度会計報告

[平成12年4月1日～平成13年3月31日]

会計担当 太田敏夫(3期A)

〔財産目録〕	
〔預金合計〕	40,233,410円
基本財産	
信託預金・定額郵便貯金等	33,263,444
奨学金基金	
含む累積利息	6,769,966
周年行事積立金	200,000
〔物品〕	
金庫2・手提げ金庫1・スチーフ1・	
書庫4・机2・椅子1・カメラ3・	
三脚1・ワープロ(シャープ書院)3	

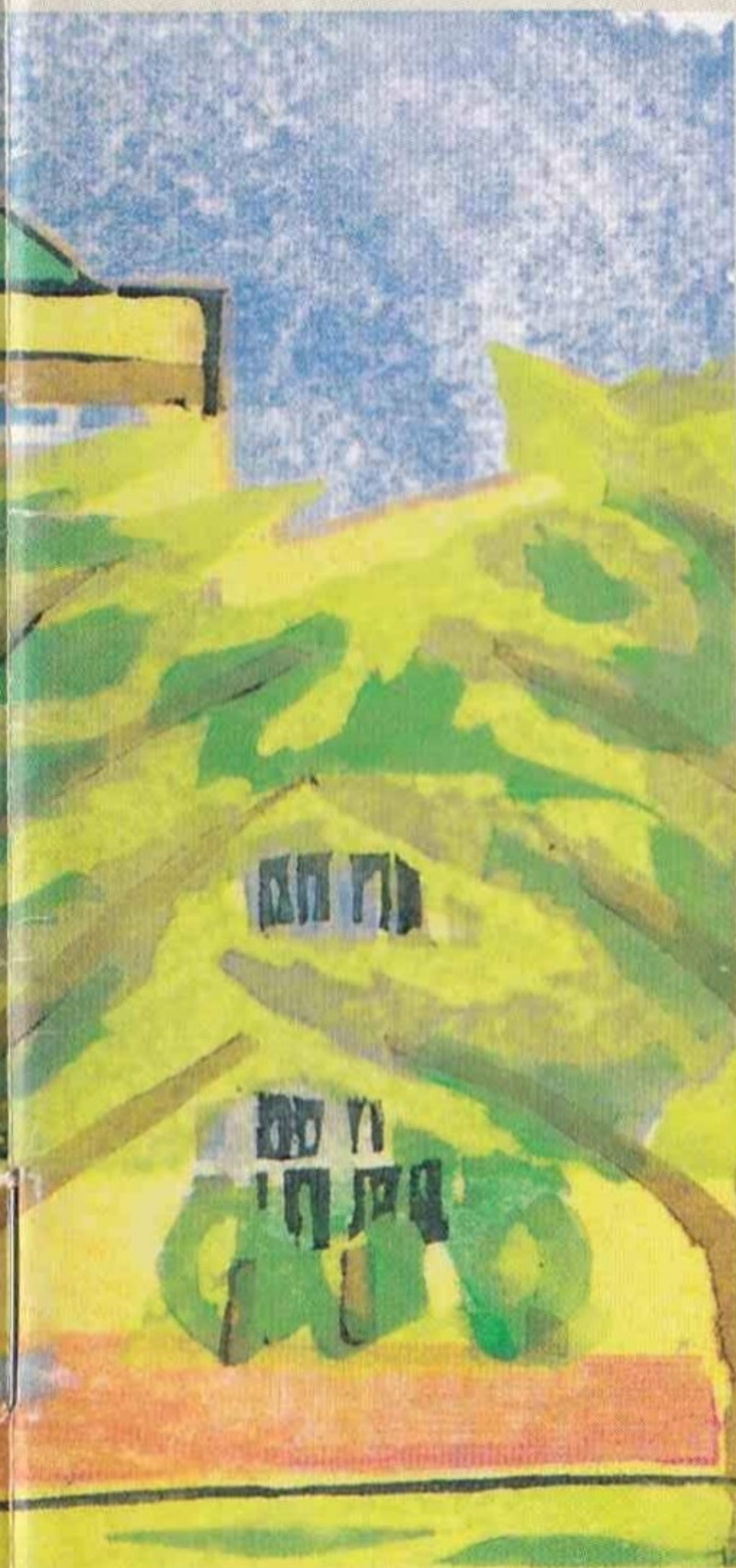
〔収入合計〕		13,239,293円
前年度繰越金		3,702,912
入会金(終身会費)		
(16,500円×283名-630円)		4,668,870
預金利息		41,917
賛助金・奨学金・運営協賛金等		1,372,359
会館建設基金解約金		3,453,235
〔支出合計〕		8,370,378円
名簿発行費		
400冊・枚葉(428組)		1,508,010
会報(紫筍)発行費		
印刷・発送費・郵送料・振込書・封筒他		2,341,080
奨学金		
図書券(10,000円×43名)		430,000
母校後援費		28,610
校歌祭後援費		120,630
幹事会費		
通信・交通費・飲物代		43,037
運営費		
通信・交通・記録費・用品代等		245,776
60周年記念事業協賛金		2,000,000
積立金		
基本財産		1,453,235
周年行事積立金		200,000
〔繰越金〕		4,868,915円

平成13年4月8日 会計監査

監査の結果正確であることを認証致します

八木 俊雄(一期C) ㊞

河野 一郎(二期A) ㊞



『紫笥』

第44号・2001年

発行・平成13年9月10日

発行者・東京都立文京高等学校同窓会『紫笥』編集委員会

〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨一丁目一番五号 東京都立文京高等学校内

印刷／シミズ印刷